

やっほー

やまびこネットワーク情報誌 VOL. 7 5
発行日 平成26年（2014年）1月22日
編集 地域づくりネットワーク長野県協議会
事務局（長野県総務部市町村課地域振興係内）
電話 026-232-0111（内線2131）
FAX 026-232-2557
E-Mail s-shinko@pref.nagano.lg.jp



また新しい1年を迎えました。
今年はどうな目標をもって活動していますか？
みなさんの活動が充実することによって、やまびこネットワーク全体が
もっともっと盛り上がっていくことを楽しみにしています。

雪の中でのやまびこフォーラムは、大盛況でした。

今年度のやまびこフォーラムは、11月16日（土）、飯山市の「なべくら高原・森の家」を会場に開催しました。

今回の「やっほ〜」では、その様子をご紹介します。

●会場の様子

当日のなべくら高原は、紅葉した木々の上にずっしりと雪が積もり、一面の銀世界でした。地域づくりに関わる方 約200人が集まった会場は、おかげさまで超満員となりました。

●地域発 元気づくり大賞贈呈式

平成24年度に「地域発 元気づくり支援金」に採択された724事業のうち、特に優れた取組を行った3団体に、阿部知事から「元気づくり大賞」を授与しました。

- ・ [プレジヨブinさく連絡協議会](#)（佐久市）
- ・ [塩尻商工会議所](#)（塩尻市）
- ・ [わくわく商店街実行委員会](#)（山ノ内町）



これらの団体が取組んだのは、「障害児の職業体験」「商店街の活性化」「買い物弱者対策」という多くの地域が抱える課題であり、先進事例として参考になると思います。

～県ホームページでは、3団体を含めた優良事例を紹介しています。～

<http://www.pref.nagano.lg.jp/shichoson/kensei/shichoson/shinko/shienkin/index.html>

●対談「長野県の集落を語る」



哲学者の内山節（うちやまたかし）先生をお迎えし、これからの集落の方向性について、阿部知事と対談しました。

- ・ [阿部知事](#)：「県は、地域のみなさんや市町村と一緒に地域の活性化に取り組むので、地域のみなさんは各地域でもっと横につながって、みんなで知恵を出し合って地域づくり活動に取り組んでほしい」
- ・ [内山先生](#)：「これからは伝統に回帰しながら新しいものを創

造する時代が来る。その軸になるのは集落」

「シャッター商店街や休耕田が多く見られる地域は“寂れてしまった”と言われるが、お店や農業がなくても生活できるという意味では、むしろ大都市よりも“余裕”がある」

参加者のみなさんは、内山先生の言葉をどんな風に受け止めましたか？

高層ビルもコンビニもない、農山村でのゆったりとした生活を選択する若者が増えていることは、先生の言葉を象徴する現象なのかもしれません。

発想を変えて、この“余裕”を強みだと考えれば、地域づくりの可能性が広がりますね。

● 昼食交流会「旬のきのこ汁と北信地域の郷土料理大集合」

他の参加者と一緒にテーブルを囲み、お待ちかねの昼食です。お話ししてみると、この昼食がお目当てで参加された方も…。

北信支部の会員さんが早朝から準備してくれたお料理は、なめこがどっさり入ったきのこ汁や小滝米のモチモチしたおにぎり、そば・野沢菜・さば缶・ぼたんこしょうなど北信ならではの素材を使った伝統食やアイデア料理まで、実に13種類！

お母さん・お父さんの味をお腹いっぱいいただきました。



● 分科会

① 飯山市 温井集落

なべくら高原の入口、新潟県境に位置する豪雪地

住民：約4割が高齢者

魅力：四季の移り変わりを感じられる豊かな自然

特徴：女性を中心とした地域活性化

～分科会の内容～

- ・家の周りをぐるっと囲む排雪用の水路など、降雪量の多い冬を乗り切るための生活の工夫を見学しました。
- ・温井むらづくり委員会の取組（農産物直売所の運営、「おばあちゃんの小遣い稼ぎ」になる麦わら細工の特産品化など）について伺ったあと、委員のみなさんやおばあちゃんたちと一緒に意見交換を行いました。



② 飯山市 北原集落

千曲川の東側に位置するなだらかな傾斜地

住民：約5割が55歳以上

魅力：高社山・斑尾山・千曲川の眺望

特徴：集落ぐるみで取り組むI・J・Uターン支援

～分科会の内容～

- ・区民の健康維持を目的に整備された、くるみ公園 マレットゴルフコース（18ホール）を見学しました。
- ・北原区ふるさと暮らし支援委員会の取組（都市住民との交流を目的とした様々な事業、東京のIT企業との相互支援協定など）について伺ったあと、住民のみなさんと意見交換を行いました。



③ 栄村 小滝集落

長野県北部地震で全戸が被災した集落

住民：子どもは小学生が1人、中学生が1人のみ

魅力：13戸が小じんまりとまとまった住民の和

特徴：栄村の災害復興モデル集落を目指した取組

～分科会の内容～

- ・村内でも特に震災の影響が大きかった小滝集落。住民のみなさんの案内により、復



興過程にある道路や田畑の様子、集落の現状を見学しました。

- ・小滝復興プロジェクトチームの取組、300年後まで集落を引き継ぐための「小滝震災復興計画」の内容を中心に、集落の歴史を知ることや集落の資源を再確認することの大切さについて、住民のみなさんと意見交換を行いました。

●意見交換会

各分科会の代表者が分科会の内容を発表した後、内山先生に総括をしていただきました。内山先生からもらったいくつかのヒントをおみやげに、フォーラムが終了しました。

「田舎ではできないこと」は、実はごく一部。



フランスの田舎では、人口が増え続けている。

雇用されることに魅力を感じない若者は、自分で仕事を作りたい。地域では、新しい人を上手に受け入れることが重要。

田舎に“ない”ものを“ある”ようにする地域づくりは、あまり上手くっていない。

「田舎なら〇〇が作れる」と発想を転換すれば、都会よりも実現できることが多い。

これからは集落がこの世界を守っていく。



●交流会（いいやま湯滝温泉）

北信地域のおいしいお酒でおもてなしをいただき、会場の熱気は最高潮となりました。同じ「地域づくり」に関心を持つ者どうしが意気投合し、あちらこちらで新しいつながりができたところで、大盛り上がりの交流会が終了しました。

～内山先生と阿部知事との対談内容を同封しますので、ぜひご一読ください。

～北信支部の会員さんのアイデアが詰まった盛りだくさんの一日となり、参加者のみなさんが充実した表情でお帰りになる姿がとても印象に残っています。

上伊那支部では、次のフォーラムの企画が始まったようです。ご期待ください！

■ 会員情報 ■

- 会員数 138団体（H26.1.1現在）
- 新しい仲間を紹介します！

支部	会員名	活動内容
上伊那	上伊那郷土研究会	上伊那地域の自然・歴史・民俗等に関する研究調査を行い、月刊誌「伊那路」を57年にわたって発行し続けています。特に、「終戦特集号」を継続的に発行し、戦争体験の記録を集積しています。
上伊那	あつい！こまがね	市街地のにぎわいを取り戻すため、縁日のシンボルとして3地藏尊を建立し、毎月第三日曜日に縁日を開催しています。また、駅前にある店舗のショーウィンドーに「吊るし飾り」を飾り付け、中心市街地の活性化を目指しています。
木曾	美しき里 わんぱく村	子どもたちの野外活動の場として、荒廃した森や耕作放棄地を美しい里山に再現した「わんぱく村」を建設しました。多様な自然体験を通して子どもたちの感性を豊かにし、自分の命を守る技を学ばせる場として活用しています。
長野	西山淡竹会	里山の景観を改善するため、竹林の整備を行っています。また、淡竹を使った加工品の特産品化（収穫・買収～商品化～販売）や竹チップの製品化により、地域経済の活性化を目指しています。

「地域発 元気づくり支援金」の事業を募集しています。

地域の元気につながる自主的・主体的な地域づくり活動に「地域発 元気づくり支援金」を活用してみませんか？

● 募集期間・・・平成26年1月6日（月）～平成26年2月3日（月）



● 対象事業

自らの知恵と工夫により自主的、主体的に取り組む地域の元気を生み出すモデル的で発展性のある事業のうち、次に掲げる事業

- ① 地域協働の推進に関する事業
- ② 保健、医療、福祉の充実に関する事業
- ③ 教育、文化の振興に関する事業
- ④ 安全・安心な地域づくりに関する事業
- ⑤ 環境保全、景観形成に関する事業
- ⑥ 産業振興、雇用拡大に関する事業
 - ア 特色ある観光地づくり
 - イ 農業の振興と農山村づくり
 - ウ 森林づくりと林業の振興
 - エ 商業の振興
 - オ その他地域の特色、個性を活かした産業振興、雇用拡大に資する事業
- ⑦ 市町村合併に伴う地域の連携の推進に関する事業
- ⑧ その他地域の元気を生み出す地域づくりに資する事業

● 重点テーマ

平成26年度事業において、県全域で重点的に推進するテーマとして次の3項目を設定し、その推進のため、補助率をかさ上げする。

- ① 県と市町村との協働事業
- ② 自然エネルギーの普及・拡大
- ③ 障害者、女性、若者の雇用促進、就業支援

● 補助率、補助額

事業区分	対象者	補助率	
		通常	重点テーマに該当
ソフト事業	公共的団体等	3/4以内	4/5以内
ハード事業	公共的団体等	2/3以内	

● 申請方法

団体の活動拠点のある市町村へ、申請書類を提出してください。

なお、申請に関するご相談は、最寄りの地方事務所（地域政策課企画振興係）へお気軽にお問い合わせください。

～詳しくは、県ホームページでご紹介しています。～

<http://www.pref.nagano.lg.jp/shichoson/kensei/shichoson/shinko/shienkin/index.html>